

発表

舟橋聖一顕彰文学賞

舟橋聖一顕彰文学賞は、彦根市の名誉市民である作家・故舟橋聖一氏の功績をたたえようと、広く青少年の文学奨励をはじめとした教育・文化の振興を図るために設けられています。18～30歳の青年を対象とした第16回「青年文学賞」には全国から92編の応募が、また、近畿各府県および滋賀県に隣接する各県の小・中・高校生を対象とした第19回「文学奨励賞」には131編の応募がそれぞれありました。

選考の結果、今回の受賞作品が次のように決定され、表彰式が10月30日(土)、市内のホテルで行われました。

青年文学賞

最優秀賞

『なめくじ共和国』

小説

御田祐美子さん

(大阪府吹田市)

佳作

『ごみ箱の慟哭』

小説

村上桃子さん

(長崎県長崎市)

御田さんの受賞の言葉

今回はこのような名誉ある賞に選んでいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。原稿を出すときは、「こんなわけのわからん気色悪いものを人様の目にさらしていいんだらうか」と激しく悩みましたが、結局えいと封筒に入れて、今ではほんとうによかったと思います。

この受賞を機に、これからも日々努力していきたいと思っています。

＝ 市内の小・中学生4人が入選 ＝

文学奨励賞

小学生の部

第一席

『夏の宝物』 作文

麻野真史さん(稲枝北小学校6年)

第二席

『命の重さを計ったら』

作文 廣部あすかさん(稲枝東小学校4年)

第三席

『ぼくの家のねこ』 作文

嶋治亮介さん(金城小学校5年)

中学生の部

第一席

『長崎の地にて』 紀行記録

吉田真唯子さん(中津川市立第一中学校3年・岐阜県中津川市)

第二席

『一人の人間』 作文

橋口怜花さん(鳥居本中学校3年)

第三席

『旅』 紀行記録

宮地純貴さん(滋賀大学教育学部附属中学校1年・大津市)

高校生の部

第一席

『蜜の舞』 創作

板谷明香さん(虎姫高校1年・東浅井郡虎姫町)

第二席

『NOZOMIある家出少女の物語』 創作

和田あゆみさん(西脇高校2年・兵庫県西脇市)

第三席

『手紙』 創作

古我奏恵さん(安曇川高校3年・高島郡今津町)

青年文学賞



中学生・第3席
宮地純貴さん



小学生・第2席
広部あすかさん



最優秀賞
御田祐美子さん



高校生・第1席
板谷明香さん



小学生・第3席
嶋治亮介さん



佳作
村上桃子さん



高校生・第2席
和田あゆみさん



中学生・第1席
吉田真唯子さん

文学奨励賞



高校生・第3席
古我奏恵さん



中学生・第2席
橋口怜花さん



小学生・第1席
麻野真史さん